

サステナビリティ取り組み事例

ツバメ・イータイムズ製 EV バイク「M-crew」の開発に協力

～リース提供も開始、メンテナンス対応も可能～

関連するマテリアリティ

パートナーシップによる
価値共創

当社は、株式会社ツバメ・イータイムズが新たに発売する EV バイク「M-crew」の開発に対して、顧客の声を集める等協力し、2024 年 10 月 10 日からリース提供を開始いたしました。

■EV バイク「M-crew」開発の経緯

脱炭素社会の実現に向けた取り組みが一層加速している中、原動機付き自転車の分野においては 2025 年に 50 cc 原付クラスの生産が停止されることに伴い、四輪よりも早い EV 化が求められております。

一方で、EV バイクの普及には航続可能距離や利便性の向上が課題としてありました。

このような背景から、三菱オートリースとツバメ・イータイムズはすでに EV バイクを使用している新聞販売業界やデリバリー業界の顧客の声を収集し、業務用に特化した EV バイクを提案・開発するに至りました。

■EV バイク「M-crew」の特徴

予約開始日：2024 年 10 月 10 日（木）

従来製品の BIZMO II-S 販売時に顧客より一番要望の多かった航続可能距離の伸長という点に着目し、バッテリーを 2 個搭載することにより航続可能距離の伸長を実現しました。さらに、荷物を積載した状態でも振動を抑えるリアサスペンションを強化。車体取り回し時に便利なバック（後退）機能も追加し、主に新聞業界に需要の高いウインドスクリーン（風防）と大型リアアングルは標準装備としました。

（M-crew の発売により、従来製品の BIZMO II-S は生産終了）

▼実車イメージ

外観



バッテリー 2 個搭載



荷台



【主な特徴】

- ① 航続距離：BIZMO II-S から航続可能距離が 1.3 倍の 195 km に向上（バッテリー 2 個搭載時）
- ② ブレーキ：坂道停車に役立つパーキングブレーキを前後輪に搭載
- ③ 最大積載量：設計上耐荷重が 130kg から 150kg に向上（運転者を含む）
- ④ 標準装備：業務用ならではのウインドシールド（風防）・大型リアアングル（荷台）・USB ポートなどを装備